



地域の学校、地域と共に

校長 関根 延年



2学期が始まり約1か月が過ぎつつあります。この原稿を作成している9月後半はようやく秋風が吹き始め、体育祭に向けて生徒たちの声が響いています。

先日20日(土)に親父の会、PTAの共同主催による校庭の除草作業が行われました。多くの保護者、関係者の方に集まっていた大きな成果をあげていただきました。その際、野球部、サッカー部、吹奏楽部の生徒たちも参加し、合計100名近くの力が結集されました。また、体育祭では親父の会による保護者向けの飲料販売も復活し、体育祭を盛り上げていただくことになりました。地域、保護者の方々のご尽力に大変感謝しています。

復活と言えば、第2学年による職場体験学習の準備も並行して行われています。こちらもコロナにより受け入れ事業所等も様変わりし、新たに協力して下さる事業所も多くあります。お忙しい中、快く受け入れて下さる事業所にもこの場をお借りして感謝を申し上げます。

さてこの職場体験、先月記載させていただいた社会性、礼儀やTPOに応じた行動を学ぶにはとても良い機会です。昨今は家に固定電話がないことも珍しくないようで、生徒が事業所の方へ電話をしている姿はとても緊張していました。そして、終わった後の表情はとても良いものでした。生徒たちが小さな頃から接している大人はおそらく家族や友人の保護者、習い事の先生などいずれも優しいと言うか好意的に接してくれる大人ばかりでした。今回は社会的なことを学ぶためにご指導を仰ぐこととなります。失礼な態度は許されませんし、時には厳しいことを言うて下さることもあるかもしれません。しかし、中学生のうちに働くことの意義や意味を知ることは大変重要です。生徒たちにとって緊張感を伴い、真摯に取り組む体験当日も含めて良い行事となることを願っています。

10月の主な行事予定

日	月	火	水	木	金	土
			1	2 葛南駅伝	3	4 くぬぎ山 ふるさと祭り
5	6 生徒会引継ぎ式	7 マナーアップ隊	8	9 3年実力テスト	10 特支合同発表会	11
12	13 スポーツの日	14 後期日課開始 スケアードスト レイト	15 市P連研修会 進路保護者会	16	17 駅伝壮行会	18 東葛駅伝壮行会
19	20 避難訓練	21 全校委員会	22 三者面談 職場体験(2年)	23 三者面談 職場体験(2年)	24 三者面談	25
26	27 三者面談	28 三者面談	29 三者面談	30 三者面談 樺ルーム保護者 会	31	

【三中生・活動の様子】

●PTA・おやじの会共催の除草作業～伝統を引き継ぐ保護者の力～

9月20日(土)今年も体育祭前の恒例、PTA及びおやじの会共催の除草作業を実施しました。今年度は実施時期が2週間遅くなったことで、残暑も和らぎ、秋の空気を感じられる中での作業となりました。

50年前から続く三中恒例の除草作業は、多くのボランティアの保護者の皆様の御協力によって引き継がれてきましたが、今年度は野球部や吹奏楽部、サッカー一部の部員もボランティアに参加し、生徒、保護者、地域の方々による協働作業となりました。御協力ありがとうございました。



●体育祭



熱中症対策のため、昨年度より2週間遅れで9月27日(土)に体育祭を開催しました。今年度は久しぶりの「おやじの会」によるジュース販売も復活し、地域住民の方の御協力を頂きながらの開催となりました。伝統の応援合戦の他に、昨年度から始まった1年生から3年生まで縦割りの「シスター学級」での体育の授業の発表の場として、シスターごとに演舞を発表しました。今年も伝統がアップデートされて、素晴らしい体育祭となりました。

●生徒会役員選挙

9月19日(金)に新生徒会役員選挙の投票を実施しました。今回は鎌ヶ谷市選挙管理委員会の御協力で、投票箱と記載台を借用して、実施しました。いずれ有権者として国政選挙等で投票する際の、雰囲気子ども達は感じ取れたのではないのでしょうか。なお、選挙の結果、すべての候補者が信任されました。新生徒会役員は10月から活動を開始しますが、自発的な活動を楽しみにしています。



【千葉県青少年赤十字国際交流派遣～ネパール派遣】

派遣生徒:本校3年生女子

赤十字社による国際交流派遣事業に参加し、ネパールを訪問して参りました。

日本が「先進国」と呼ばれる半面、ネパールは「発展途上国」と呼ばれています。私は現地を訪れ、その実態を体感することができました。それは、特に2つあります。

一つ目に、水道設備についてです。事前に家族や赤十字職員の方から「水道水は国にするな」と口酸っぱく言われていました。現地ではすべて、ペットボトルで水が提供され、キャップにはラベルがついていました。

二つ目に交通設備についてです。宿泊したホテルに近い、首都・カトマンズの大通りには横断歩道の白線はあるものの信号機はありませんでした。現地の人は、車やバイクの間をすり抜けて渡っていました。

ネパールの人との交流は、とても楽しいものでした。それは、彼らが笑顔で歓迎してくれ、異文化に興味津々だったからです。

ネパールで過ごした貴重な日々を大切にしていきたいと思います。